

報告事項へ

因幡の麒麟獅子舞連合保存会の設立等について

因幡の麒麟獅子舞連合保存会の設立等について、別紙のとおり報告します。

平成31年3月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

因幡の麒麟獅子舞連合保存会の設立等について

平成31年3月15日
文 化 財 課

1 無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」連合保存会の設立

(1) 経緯

平成26年度から29年度の4カ年で調査を行った麒麟獅子舞について、29年度末に調査報告書を刊行し、麒麟獅子舞の成立や変遷、地域的特色が示され、全国的にみても重要な民俗芸能であることが再認識された。

この結果を受け、県及び関係市町（鳥取市・岩美町・八頭町・智頭町・若桜町・湯梨浜町）では、麒麟獅子舞が国の重要無形民俗文化財にふさわしいと考え、国の文化財指定を目指して、すべての麒麟獅子舞が参加する連合保存会の設立を働きかけたところ、多くの保存会等の賛同を得ることができ、下記のとおり設立する運びとなった。

今後、加盟団体を増やし、国の文化財指定を行政と共に目指していく。

(2) 無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」連合保存会について

- ア 名称 無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」連合保存会
(会長：大和佐美命神社獅子舞保存会 宮橋吉美氏)
- イ 目的 無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」の保存・継承
- ウ 設立 平成31年2月23日(土)
- エ 会員 本会の趣旨に賛同する下記の90団体(設立当時)
(ア)無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」の保存・継承を主旨とする団体
(イ)無形民俗文化財「因幡の麒麟獅子舞」の保存・継承にこれまで精力的に努め、今後も精力的に継続することができる団体
- オ 役員 会長・副会長・会計各1名、監事2名
参与として会員の所在する県市町文化財保護部局が事業の遂行に協力。

2 平成30年度民俗芸能フォーラム「みんなに伝えたい！地域の宝」の開催

(1) 事業概要

事例報告やグループディスカッションによる意見交換を行うことで、民俗芸能を伝承していくための手がかりを探ることを目的として開催。今回は、「みんなに伝えたい！地域の宝」と題して、後継者育成の悩みに焦点を当て、これまで保存会に入っていない人たちへ働きかけて定着に結びついた事例の報告を通し、自分たちの地域の宝の魅力はなにか、それを効果的に伝えるためにはどうしたらいいか考えた。

(2) 実施内容

- ア 日時 平成31年2月23日(土)午後2時から4時45分
- イ 会場 鳥取市人権交流プラザ 研修室(鳥取市幸町151番地)
- ウ 参加者 33名
- エ プログラム
 - (ア)全国の事例紹介
独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部
無形民俗文化財研究室長 久保田 裕道 氏
 - (イ)県内の事例報告
新田人形浄瑠璃芝居相生文楽(智頭町西谷) 早瀬勲氏
淀江さんこ節保存会(米子市淀江町) 奥田晃巳氏・平野義人氏
 - (ウ)グループディスカッション
各自の伝統文化のよいところ、それを効果的に伝える方法について検討。
 - (エ)全体意見交換・講評

<参加者の声>

他団体や全国の様子を知ってよい刺激になった。後継者育成の悩みにヒントをもらった。